

神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>

神奈川県衛生研究所

第272号

平成27年8月26日発行
病原体検出は平成27年6月分

表1 病原体検出状況(保健所等別)―平成27年6月

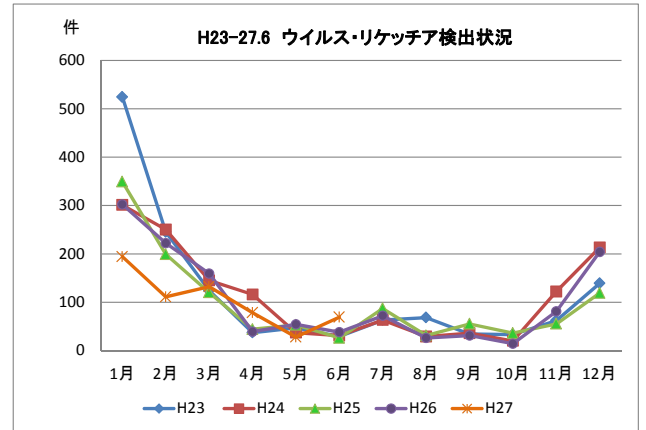
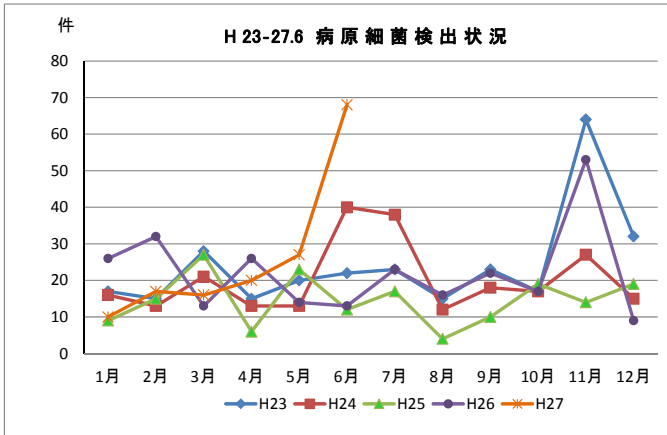
	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査											病原体定点				合計		
	平塚保健福祉事務所 秦野センター	平塚保健福祉事務所	鎌倉保健福祉事務所 三崎センター	鎌倉保健福祉事務所	小田原保健福祉事務所	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	茅ヶ崎保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所 大和センター	横須賀市保健所	藤沢市保健所	計	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹	その他の医療機関
病原細菌	腸管出血性大腸菌(EHEC)					4	3					7						7
	腸管凝集性大腸菌(EAggEC)												1					1
	その他の大腸菌※									1		1	3					4
	サルモネラ 04群		2	1								3						3
	サルモネラ 07群			1								1						1
	エロモナス ハイドロフィラ												1					1
	カンピロバクター ジェジュニ	4	1								1	6	2					8
	黄色ブドウ球菌			1	5						3	9						9
	ウエルシュ菌			10								10						10
	セレウス菌										1	1						1
	A群溶血レンサ球菌												15					15
	レジオネラ ニューモフィラ	2	1			2						5						5
マイコプラズマ ニューモニエ												2				1	3	
計	6	4	13	5	6	3				5	1	43	24			1	68	
ウイルス・リケッチャ	インフルエンザ AH3												1					1
	コクサッキー A6												2					2
	コクサッキー A9															3		3
	コクサッキー A10												1					1
	コクサッキー A14												1					1
	コクサッキー A16												13					13
	エコー 16															2		2
	ライノ															1		1
	麻疹									2		2						2
	アデノ 1												2					2
	アデノ 2												1					1
	アデノ 3												10					10
	アデノ 4												2					2
	単純ヘルペス 1												2					2
	ヒトヘルペス 6															1		1
	ノロ			6				1		1	9	17						17
	サポ			2					1		3	6						6
アストロ												2					2	
計			8				1	1	2	1	12	25	37		7		69	
合計	6	4	21	5	6	3	1	1	2	6	13	68	61		7	1	137	

※：EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EAggEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）

海外渡航者数は（内数）として記載

<検出状況>

○ 6月の病原体検出数は合計137件、細菌は68件、ウイルス・リケッチアは69件であった。



- 感染症および食中毒発生に伴う行政検査等では、細菌が43件、ウイルスが25件検出された。
- 病原体定点等の医療機関からの検査では、小児科定点から細菌が24件、ウイルスが37件、基幹定点からウイルスが7件、その他の医療機関から細菌が1件検出された。
- 保健所管内別の病原体検出状況は表1のとおりである。

表2 病原細菌検出状況(臨床診断別)—平成 27 年 6 月

	感 染 症														食 中 毒 含 む 様 子	依 頼 者 検 査 ※ 1 査	合 計	
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	パ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	百 日 咳	細 菌 性 髄 膜 炎	菌 血 症	ペ ニ シ リ ン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	レ ジ オ ネ ラ	淋 菌 感 染 症				そ の 他
検 査 検 体 数	1			3	20	36	20	4	1				6			91	2213	2395
腸管出血性大腸菌(EHEC)					7													7
腸管凝集性大腸菌(EAggEC)							1											1
その他の大腸菌 ※							3									1		4
サルモネラ 04群																2	1	3
サルモネラ 07群																1		1
エロモナス ハイドロフィラ							1											1
カンピロバクター ジェジュニ							2									6		8
黄色ブドウ球菌																9		9
ウエルシュ菌																10		10
セレウス菌																1		1
A群溶血レンサ球菌						15												15
レジオネラ ニューモフィラ													5					5
マイコプラズマ ニューモニエ								3										3
計					7	15	7	3					5			30	1	68

※： EHEC(VTEC)・EPEC・EIEC・EAggEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)
海外渡航者数は(内数)として記載

- 腸管出血性大腸菌感染症患者届出関連に伴う検査で、20 検体中 2 事例 7 検体から腸管出血性大腸菌が検出された。血清型はすべて O26 であった。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者 36 検体中 15 検体から、A 群溶血レンサ球菌が分離培養によって検出された。血清型は、T1 が 2 検体、T3 が 5 検体、T4 が 2 検体、T12 が 3 検体、T2、TB3264 および UT が各 1 検体であった。
- 感染性胃腸炎患者 20 検体中 6 検体から 7 株の病原細菌が検出された。その内訳は腸管凝集性大腸菌(O126)が 1 検体、その他の大腸菌が 2 検体(O152、血清型不定・検出遺伝子 astA)、エロモナス ハイドロフィラ 1 検体、カンピロバクター ジェジュニが 1 検体、その他の大腸菌(血清型 O6)とカンピロバクター ジェジュニの重複検出が 1 検体であった。
- マイコプラズマ肺炎患者 4 検体中 3 検体から、肺炎マイコプラズマ(マイコプラズマ・ニューモニエ)が PCR と分離培養によって検出された。
- レジオネラ症患者 6 検体中 5 検体から、レジオネラ ニューモフィラが分離培養によって検出された。血清群の内訳は、血清群 1 が 5 検体から、うち 1 検体からは血清群 13 も検出された。検出された 5 検体のうち血清群 1 が検出された 1 検体を除き 4 検体が集団発生事例の検体であった。
- 食中毒(関連調査を含む)様事例では 91 検体中 30 検体から食中毒菌が検出され、そのうち 8 事例が食中毒であった。検出菌の内訳は、その他の大腸菌(腸管病原性大腸菌・血清型不定)が 1 事例 1 検体、サルモネラ O4 群(S.Saintpaul)が 1 事例 2 検体、サルモネラ O7 群(S.Infantis)が 1 事例 1 検体、カンピロバクター ジェジュニが 2 事例 6 検体、黄色ブドウ球菌が 2 事例 9 検体(うち 1 事例は 1 検体からセレウス菌も検出)、ウエルシュ菌が 1 事例 10 検体であった。
- 依頼検査 2213 検体中 1 検体からサルモネラ O4 群(S.Chester)が検出された。

表3 病原細菌検出状況(月別)—平成27年6月

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成26年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	平成27年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)	5	3	2	7		4		22	1					7	8
毒素原性大腸菌(ETEC)			5					17							
腸管凝集性大腸菌(EAggEC)		1	1			1		4					1	1	2
その他の大腸菌 ※	2	1		1		21	3	40	3	1		2		4	10
サルモネラ O4群								1					1	3	4
サルモネラ O7群			1			1		2			1		4	1	6
サルモネラ O8群		2						2							
サルモネラ O9群			2					2							
サルモネラ O3,10群								1							
エロモナス ハイドロフィラ														1	1
エロモナス キャビエ								1							
カンピロバクター ジェジュニ	3	5	1	12	13	17	2	68	1	2			1	8	12
カンピロバクター コリ		2						3			1	1			2
黄色ブドウ球菌								1				1		9	10
ウエルシュ菌								14	1					10	11
セレウス菌														1	1
赤痢菌 (<i>S.sonnei</i>)						1(1)		1(1)							
A群溶血レンサ球菌		4	3	2	3	8	2	61	3	13	12	16	20	15	79
レンサ球菌 その他								1							
肺炎球菌		1					1	3							
マイコプラズマ ニューモニエ		2	1		1			11			2			3	5
レジオネラ ニューモフィラ	2	2						7	1	1				5	7
その他の細菌	1						1	2							
合計	13	23	16	22	17	53(1)	9	264(1)	10	17	16	20	27	68	158

※:その他の大腸菌: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EAggEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)
 海外渡航者数は(内数)として記載

表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断別)—平成 27 年 6 月

	感 染 症																食 中 毒 (有 症 情 含 む 様 々)	合 計	
	ウ エ ス ト ナ イ ル 熱	つ つ が 虫 病	デ ン グ 熱	日 本 紅 斑 熱	急 性 脳 炎	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	感 染 性 胃 腸 炎	手 足 口 病	風 し ん	ヘル パン ギー ナ	麻 し ん	流 行 性 耳 下 腺 炎	イン フル エン ザ 様	流 行 性 角 結 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎			そ の 他
検査検体数			1		1		17	14	21		2	8	1	1		15	2	71	154
インフルエンザ AH3														1					1
コクサッキー A6									1		1								2
コクサッキー A9																3			3
コクサッキー A10									1										1
コクサッキー A14									1										1
コクサッキー A16									12		1								13
エコー 16																2			2
ライノ																1			1
麻疹												2							2
アデノ 1							2												2
アデノ 2							1												1
アデノ 3							10												10
アデノ 4							2												2
単純ヘルペス 1									2										2
ヒトヘルペス 6																1			1
ノロ																		17	17
サポ																		6	6
アストロ								2											2
計							15	2	17		2	2		1	7		23	69	

海外渡航者数は(内数)として記載

- 咽頭結膜熱患者 17 例中 15 例からウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス 1 型が 2 例、アデノウイルス 2 型が 1 例、アデノウイルス 3 型が 10 例、アデノウイルス 4 型が 2 例であった。
- 感染性胃腸炎患者 14 例中 2 例から下痢症の原因となるアストロウイルスが検出された。
- 手足口病患者 21 例中 16 例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルス A6 型が 1 例、コクサッキーウイルス A14 型が 1 例、コクサッキーウイルス A16 型が 12 例、単純ヘルペス 1 型が 1 例、コクサッキーウイルス A10 型と単純ヘルペス 1 型との同時検出が 1 例であった。
- ヘルパンギーナ患者 2 例からコクサッキーウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルス A6 型が 1 例、コクサッキーウイルス A16 型が 1 例であった。
- 麻しん疑い患者 3 例(8 検体)中 1 例(2 検体)から麻しんウイルス(H1 型)が検出された。
- インフルエンザ様患者 1 例からインフルエンザウイルス AH3 型が検出された。
- 無菌性髄膜炎患者 6 例(15 検体)中 3 例(7 検体)からウイルスが検出された。その内訳は、1 例目は 3 検体からコクサッキーウイルス A9 型が、2 例目はヒトヘルペスウイルス 6 型、3 例目は髄液と便からはエコーウイルス 16 型が、咽頭拭い液からはライノウイルスが検出された。
- 食中毒様事例では 71 検体中 17 検体からノロウイルスが、6 検体からサポウイルスが検出された。そのうち食中毒事例(他県からの関連事例を含む)は 4 事例で、ノロウイルスが検出された事例が 3 事例、サポウイルスとノロウイルスの 2 種類が検出された事例が 1 事例であった。

表 5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別)-平成27年 6 月

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成26年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	平成27年累計
インフルエンザ AH1pdm09				4				205	1	4	1				6
インフルエンザ AH3	1	1	1	5	3	27	136	227	128	45	12	2	1	1	189
インフルエンザ B								241	8	15	11	19	2		55
R S					3	2	3	8							
コクサッキー A2	1							1							
コクサッキー A4	1	28	5	3				37					1		1
コクサッキー A5		1	1	1				3							
コクサッキー A6		3						3						2	2
コクサッキー A8						1		1							
コクサッキー A9											2	4	3		9
コクサッキー A10				2	2	2		7						1	1
コクサッキー A14														1	1
コクサッキー A16				5	1	1	2	9		1	5	3	13		22
コクサッキー B4					2			2							
エコー 16				1				1						2	2
エコー 30				1				1							
エンテロ 71								1							
A型肝炎								2							
パレコ 1		1						1							
パレコ 3	1	5	6	1	1			14							
ライノ	1	3					1	5		1	1	1	1	1	4
ムンプス	2	2	2	1				11	1						1
麻疹	5	19	5			2		40		3	3	3		2	11
風疹								2							
アデノ 1	2	2					2	12		3				2	5
アデノ 2	3					1		8	1	3	4	4	4	1	13
アデノ 3	2	3	2	1	1	1	8	23	1		4	6	10	21	
アデノ 4	1							2						2	2
アデノ 5								1							
アデノ 6	1							1							
アデノ 19		1						1							
アデノ 37		1						1			1	1			2
アデノ(型未決定)	1			3			1	7		1					1
単純ヘルペス 1														2	2
サイトメガロ				1				1							
E B	1							1				1			1
ヒトヘルペス 6												2		1	3
パルボ B19												1			1
ロタ		1						2							
ノロ	9		4			40	45	323	54	37	96	30	3	17	237
サポ	2	1				2	5	18	2	1	1			6	10
アストロ	4				1			14		1		2		2	5
デング				2			1	3			2	1	2(2)		5(2)
オレクチア ツツガムシ						2		2							
合計	38	72	26	31	14	81	204	1242	194	111	132	78	28(2)	69	612(2)

海外渡航者数は(内数)として記載

表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況—平成 27 年 6 月

検査検体数	病原細菌検出数および検査検体数												
	食 品						環 境						
	6月			6月累計			6月			6月累計			
	食中毒等	取去検査	その他	食中毒等	取去検査	その他	海水※	浴槽水等	食中毒等	その他	海水※	浴槽水等	食中毒等
検査検体数	9	80		17	224			7	22		29	14	57
毒素原性大腸菌 (ETEC)													
サルモネラ 04群													
サルモネラ 07群													
サルモネラ 08群													
サルモネラ 09群													
腸炎ビブリオ													
カンピロバクター・ジェジュニ	1			1									
カンピロバクター・コリ													
カンピロバクター・ジェジュニ/コリ													
黄色ブドウ球菌	1			1									
セレウス菌													
レジオネラ属菌													
レジオネラ・ニューモフィラ1群								2				2	
レジオネラ・ニューモフィラ2群													
レジオネラ・ニューモフィラ3群													
レジオネラ・ニューモフィラ4群													
レジオネラ・ニューモフィラ5群													
レジオネラ・ニューモフィラ6群													
レジオネラ・ニューモフィラ7群													
レジオネラ・ニューモフィラ8群													
レジオネラ・ニューモフィラ9群													
レジオネラ・ニューモフィラ10群													
レジオネラ・ニューモフィラ11群													
レジオネラ・ニューモフィラ12群													
レジオネラ・ニューモフィラ13群								2				2	
レジオネラ・ゴルマニイ													
レジオネラ・ミクダデイ													
レジオネラ・デュモフィー													
計	2			2				4				4	

※：河川水を含む。

- 食品検査では食中毒等 4 事例 9 検体中、2 事例 2 検体から食中毒菌が検出された。検出状況は、カンピロバクター ジェジュニが鳥ささみから、黄色ブドウ球菌が弁当から検出された。
- レジオネラ症の集団発生が 1 事例あり、浴槽水 7 検体中 2 検体からレジオネラ ニューモフィラ 1 群と 13 群の両方が検出された。